



ガチ部門優勝「チームニコラス」(上)、ふわふわ部門優勝「もふもふ」(下)



東海中新聞

NO. 379

令和5年1月号

校長 今枝武司

どうする？

で考える



ここ数年来、年があらたまると必ずやるがあります。一つは初詣に行

つておみくじを引くことです。もう一つはNHK大河ドラマの主人公の本を読むことです。今年岡崎の偉人、徳川家康公を主人公にしています。司馬遼太郎氏著「関ヶ原」、安倍龍太郎氏著「家康」など数ある著書の中から火坂雅志氏の「天下」を選んで読んでいます。

始業式でも話しましたが、徳川家康という戦国時代を終わらせ江戸幕府を開いた強い人・我慢強い人というイメージがあります。しかし、今回のドラマは家康の弱い部分や失敗を重ねながら周りの強敵と向き合ったかに焦点を当てられています。主演の松本潤さんも新聞記事の中で『か弱いプリンスというか、ちよっとダメダメのところもありながら一生懸命選択したり、家臣に助けってもらったりしながら前に進んでいく様は共感していただけたと思う(一月九日中日新聞)』と話しています。

徳川家康も最初から強かったのではなく、失敗を繰り返し、下した決断が正

解なのか手探りしながら成長していったのです。「しかみ像」はその最たるものです。三方ヶ原の戦いで武田信玄に敗れ、命からがら逃げ帰った家康が、敗戦を肝に銘じ自らを戒めるために描かせたと言われています。この時の悔しさや怖さを忘れないために一生、傍らに置いていたとも言います。

また、山中八幡宮の「鳩が窟」も家康と関係した歴史遺産です。家康と一向一揆との戦いで家康は苦戦しました。特に針崎の戦いで、味方とはぐれて逃げました。その時、八幡宮の中の小さな洞穴に隠れました。敵は槍で洞穴を突きましたが、中から白い鳩が飛び立ったので人は隠れていないと思い、行ってしまいました。家康は九死に一生を得たのです。約四六〇年前にもこの近くで家康は「どうする？」と迷っていたと言っているでしょう。

人は誰しも失敗もするし、逃げたいと思ったりもします。これから先、みなさんも順風満帆とはいかないかもしれませんが、もしかすると、成功よりも失敗することの方が多いかもしれません。でも、そこで諦めるか、踏ん張って諦めないかによってその先が大きく違います。失敗を乗り越えて先に進むことで大きく成長すると思います。

「どうする？」という場面では迷いますが下した決断を信じ、まっすぐに誠実に進んで行きましょう。

校内書き初め会

一月十日の始業式の日に書き初め大会を行いました。一年生は「温故知新」、二年生は「感謝する心」、三年生は「希望に輝く春」と書きました。各学年の金賞・銀賞受賞者です。

二年生銀賞

一組

二組

三組

四組

三年生金賞

一組

二組

三組

四組

三年生銀賞

一組

二組

三組

四組

二年生金賞

一組

二組

三組

四組



岡崎市民駅伝

一月十五日の第七十四回岡崎市民駅伝大会に男女三チームが出場し、女子二区の さんが区間二位の快走をみせました。

走ることが大切

二年二組

僕は最初、駅伝の存在を知りませんでした。ある時、友達に「駅伝一緒にやる？」と言われました。自分は陸上部ではないけど、何事も挑戦しようと思いついてみました。駅伝部の仲間みんな陸上部からの参加で、ついていけるか不安でした。しかし、みんなが優しく、お互いに支え合えたので不安はなくなり、部活が楽しくなりました。大会では最後まで襷を繋げることができました。駅伝部で、走ることの楽しさと仲間と支え合う大切さを学びました。

仲間のありがたみ

二年一組

駅伝の最大の魅力は仲間だと思います。大会本番で走るの一人です。けれど、自分の前や後ろに走る仲間のために少しでも速く走ろうという

気持ちがとても力になります。どんなに辛く苦しい練習も仲間がいれば乗り越えることができ、仲間と競い合い自分の力を高めていくことができま

す。駅伝はなかなか練習が結果に結びつかないことがあり、大変な競技ですが、あとの達成感はとても大きいです。きつとこの経験は大人になっても忘れることはないと思います。

- 男子 A チーム 第十三位
- 男子 B チーム 第二十位
- 女子チーム 第八位

クリスマスコンサート

感謝

二年四組

先日、東部地域福祉センターでクリスマスコンサートを行いました。コンサートには沢山のお客さんが集まり、私たちが演奏している時にはにこにこ笑顔で楽しそうにしていました。私はそれを見て、今までみんなで頑張ってきたことに意味があつて、一緒に頑張れる仲間がいて幸せだなと改めてこの時に思いました。私はこれから大切な仲間がいることを当たり前だと思わず、私や私たちが普段からお世話になつてくれる人たちに感謝を伝えられる人になりたいです。

東中PTAだより

東海中PTA
広報委員会
第217号

マラソン・駅伝大会

マラソン・駅伝大会

三年生保護者

冬の張りつめた空気を感ずるもの雲一つない晴天に恵まれた十二月十五日、マラソン・駅伝大会が開かれました。

保護者の皆様が見守る中、スタートが間近に迫り一気に高まる場内の緊張感。パンツとピストル音が鳴り響くとクラス別に赤や黄、紫色などの鉢巻きを頭に巻いた生徒たちが一斉に勢よく駆け出し、大きな声援で校内が沸き立ちました。

しばらくして先頭の生徒が校外コースからグラウンドに戻って来ました。保護者や先生方の拍手や応援のかけ声を背に、最期の気力を振り絞って駆け抜けていきました。

最後まで頑張った生徒の皆さん、お疲れ様でした。苦しいながらもひたむきにゴールに向かつて走る姿は、見ている者に清々しい感動を与えると共に、走り切った経験は自信となり、今後の様々な場面にも生きてくると思います。また、この大会運営のために、先生方と多くのPTA役員の皆様に尽力いただいたことに

感謝いたします。

ありがとう、マラソン・駅伝大会

三年生保護者

十二月十五日、晴天の寒空の下、二年ぶりのマラソン・駅伝大会が単独で行われました。どの子も自分の力を出し切り精一杯走る姿に感動しました。その中でも駅伝で外周を走ったあと校内に戻ってくると、同じチームの仲間が運動場を並走して声をかけ応援する姿がとても印象に残りました。

長い距離を走ることはとても苦しいことだと思えます。一生懸命応援する姿にとっても感動しました。先生や保護者の応援もきつと子供達の力になったと思えます。走り終えた子供達の顔はとても素敵でした。行事を通して、また子供達の成長する姿をみることでできてよかったです。

三年生にとって最後のマラソン・駅伝大会が開催されたことに感謝します。

豚汁完売!

一年生保護者

十二月十五日(木)に開催されたマラソン・駅伝大会で豚汁を作りました。前日の天気予報では今年一番の寒波が来ると予報されていましたが、当

日は生徒達の熱気と日差しに恵まれたおかげで、強風であったもののあまり寒さを感じることなく準備を進めることができました。

今年も例年通り六つの鍋を用意し、役員、理事さんがそれぞれのグループに分かれ調理を行いました。カットされた野菜等の材料をタイミングを見ながら鍋に入れて煮込み、指定された時間に味噌を入れて生徒達がゴールするのに合わせて豚汁を完成させました。強風の中ゴールを目指し、力強く駆け抜けていく生徒達の姿は感動しました。調理中、頑張つて走る我が子の姿を見つけて、交替で応援をされている役員、理事さんも多かったです。

完成した豚汁の鍋の前には、お椀を手にした生徒達が並びました。走り切った後の清々しい笑顔と「お願いします」、「ありがとうございます」の気持ちのいい挨拶が印象的でした。おかわりの呼びかけにも長蛇の列ができ、どの鍋も味噌汁も具材も何一つ残らず見事な空っぽ状態でした。喜んで食べてもらえて嬉しかったです。来年はもう一つ鍋を増やすことも検討しています。

もちつき大会

もちつき大会

三年生保護者

十一月二十六日(土)、早朝からの雨…。心配していた天気も、もちつき大会の時間には無事外で開催することが出来ました。受験勉強で頑張っている三年生に、英気を養ってもらおうと参加させて頂きました。石臼を使い、各クラス一人一人が大きな杵でおもちを打ち付ける姿、教室まで響き渡る音にたくましく見えました。出上がったおもちには、「あんこ」「きな粉」「砂糖醤油」「のりしおポテチ」の四種類の味付けにされ、子ども達の待つ教室へと届けられました。美味しそうに笑顔で食べている姿を見て、こちらまでほっこりとしてきました。食べ終わった後には、廊下に並び、「ごちそうさまでした。ありがとうございます」とおもち美味しかったです。とお礼の挨拶があり、最初から最後まで元氣よく礼儀正しい最上級生らしい姿も見せて頂き、素敵なおもてなしでした。ご協力頂きました、歴代PTA役員の皆様、委員会の皆様、おやじの会の皆様、校長先生、教頭先生、そして先生方、本当にお疲れ様でした。とても貴重な体験をさせて頂き嬉しく思います。ありがとうございました。



笑ってブレイク ドッジボール大会

三年生生徒会執行委員の発案で「笑ってブレイク」が企画されました。今回は昼休みの時間に参加者を募集し、ドッジボール大会を行いました。優勝チームは、表紙に掲載しています。

楽しい学校へ

三年執行委員

笑ってブレイクは楽しい学校にする、生徒中心、異学年交流を目的とした企画です。私たちが企画をするときに、なるべく全員が楽しめるように強制参加でなくしたり、ドッジボールもふわふわ部門とガチ部門に分けたりしました。

今、第二回を企画していて、アンケートで第一回の改善点やよかった点を聞いたり、第二回で行いたことを聞いたりして、第二回笑ってブレイクをよりよいものとなるようにしています。第二回笑ってブレイクを楽しみにしていただきたいと思います。

楽しむことが一番

三年四組

僕が「笑ってブレイク」に参加して



よかったことは、チームのみんなが全力で楽しめたことです。だから、僕はこの「笑ってブレイク」を通して、行事では全力で楽しむことで、協調性が高められることを学びました。ふわふわ部門で優勝することができたことでチームメイトとは以前にも増して仲がよくなりました。

行事に積極的に参加して、仲間と一緒に楽しむ協調性も得られたと実感させてくれた、生徒会後期役員のみなさんに感謝しています。

ドッジボール大会優勝

生徒会企画のドッジボール大会で、僕たちのチームは違う学年と仲良く楽しくドッジボールができました。チームでうまくプレーができるように話し合いました。試合は引き分けばかりでなかなか結果が出ませんでした。が、運も味方して準決勝までじゃんけんで勝ち進みました。勝ててうれしくなりました。みんなでしたっけ勝とうと目標を立てて決勝に挑みました。相手もとても強かったですが、息の合ったプレーができ、勝つことができました。とてもうれしかったです。

また、ドッジボール大会を企画してくれた生徒会に感謝したいです。生徒会がこのような機会をつくってくれたのでみんなが楽しむことができました。生徒会が次にどんな企画をやるのかがすごく楽しみです。そのときも進んで参加したいと思います。次のレクに向けてレベルアップしてまた優勝したいです。

今後の予定

二月

- 六日 一・二年生学年末 試験範囲発表
- 七日 公立高校推薦入試
- 七日 公立高校特色入試
- 七日 部活動休止 (十五日まで)
- 十二日 東部地区 バレーボール大会
- 十三日 一・二年生学年末試験 (十四日まで)
- 十九日 資源回収 (竜谷・藤川・本宿)
- 二二日 公立高校一般入試
- 二四日 公立高校一般入試面接A
- 二七日 公立高校一般入試面接B

やまなみ

教育随想

二千五十年までの約束

校務主任 平岩 嘉久

温暖化による自然災害が増加する中、ティップリングポイントに到来する前にカーボンニュートラルを実現することは、人類最優先の課題です。風力発電や自動車の電動化ばかり

が、注目されていますが、水素による製鉄、アンモニアによる発電なども開発が進められています。また、DACやCCS、CCUなど、二酸化炭素を回収し、貯蔵や再利用する技術。SAFやe-fuelなど二酸化炭素の排出が実質0になる燃料も試作されています。

先進国や大人達は、途上国や子供達、野生生物に負担を押しつけてしまいました。二酸化炭素の排出についてほとんど責任がないのにもかかわらず、インフラの整備ができていない途上国の方が異常気象の被害を多く受けています。子供達や野生生物も大人達が引き起こした温暖化から逃げることはできません。私個人は、脱炭素に精一杯取り組んできました。この先は、これからの社会の担い手になる君たちに任せます。この星をよろしく。